

# テンプレート（雛型）の作成方法【図面マネージャ】

文書管理番号：1096-02

## Q. 質問

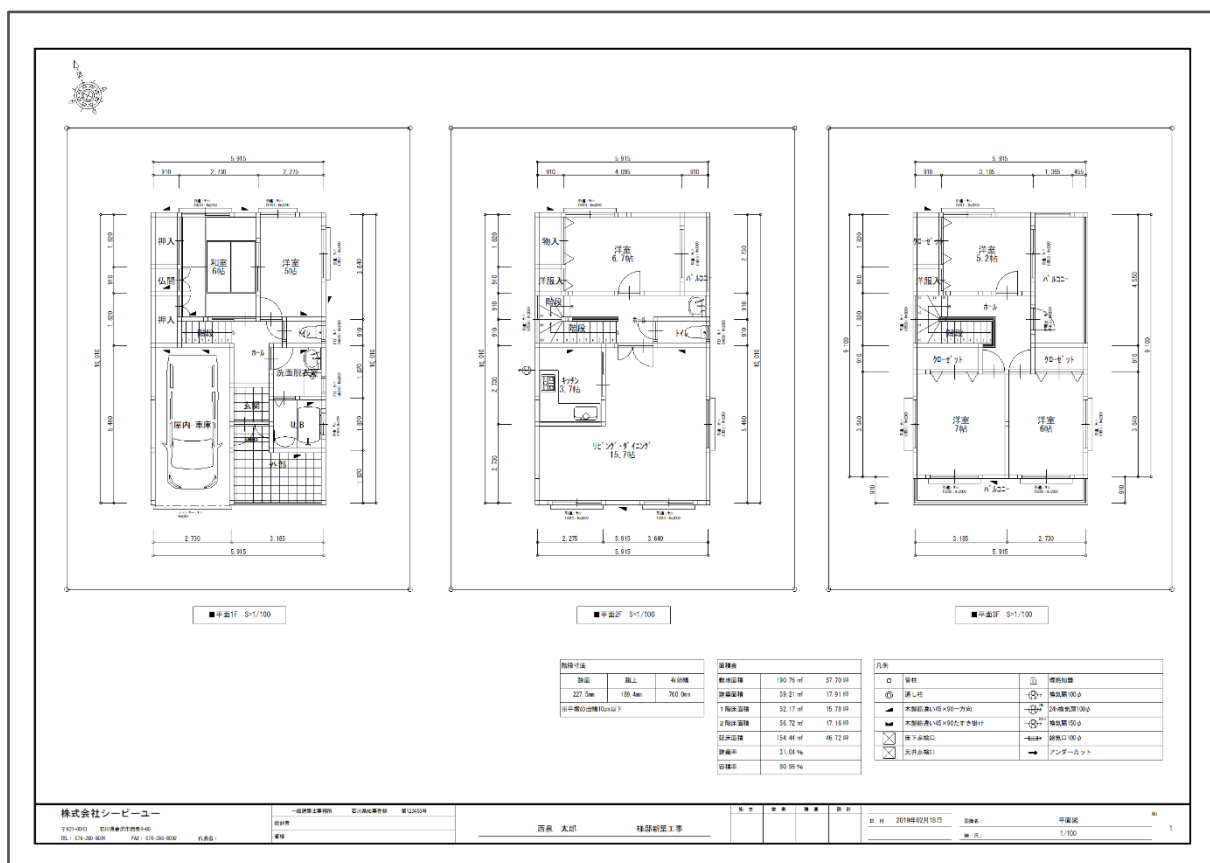
図面マネージャのテンプレート（雛型）を任意に作成したい。

## A. 回答

図面マネージャで、図面枠を設定し必要な図面や表をレイアウトして、設計図書として保存します。保存した設計図書を「テンプレートとして開く」から読み込むことで、別プランでもテンプレート（雛形）として利用できます。



テンプレートとして開く場合は、選択した図面データに設定されているファイル・表・文字の各リンク情報のみが引き継がれ、起動中のプランの各詳細図や情報が読み込まれます。

ここでは、3階建ての物件を例に、A3用紙1枚に、1階・2階・3階の間取りを並べて配置する方法を説明します。

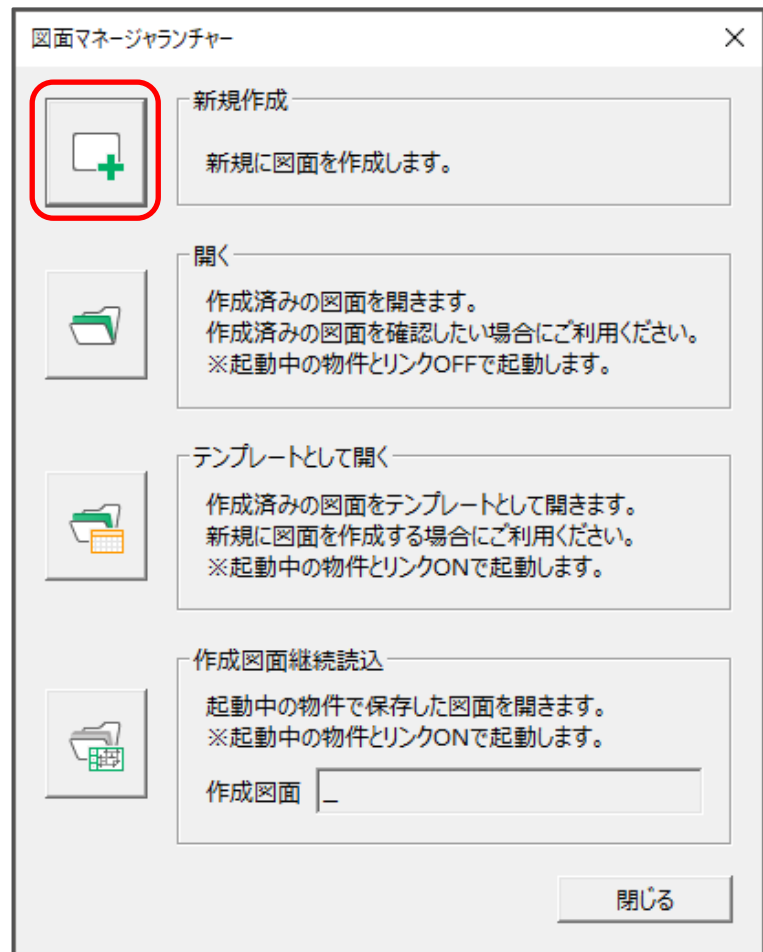


## 操作手順

- 図面枠の設定

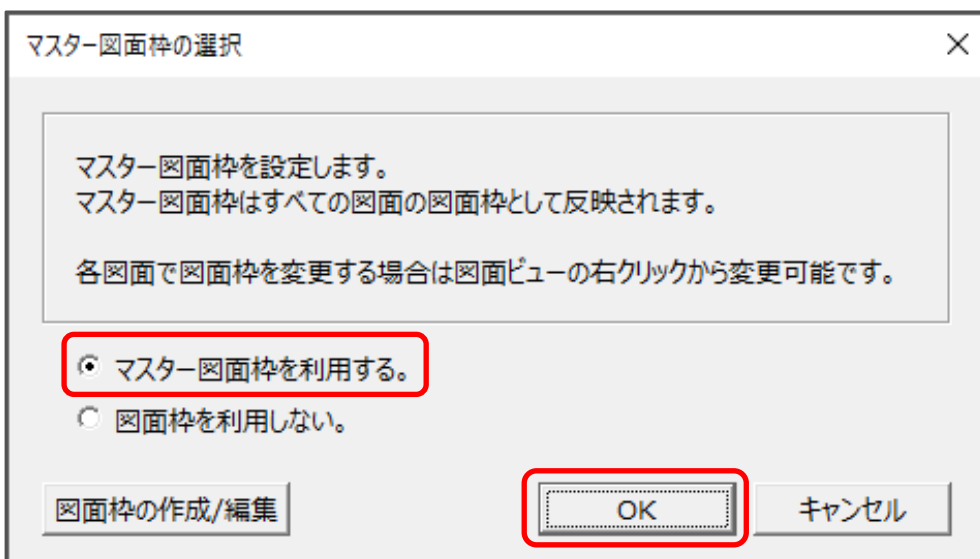
- ①  (図面マネージャ)を起動し、図面マネージャランチャーから  (新規作成)をクリック

\* マスター図面枠の選択の画面が表示されます。



- ② 図面枠利用の有無を選択し「OK」をクリック

\* ここでは、「マスター図面枠を利用する。」を選択します。

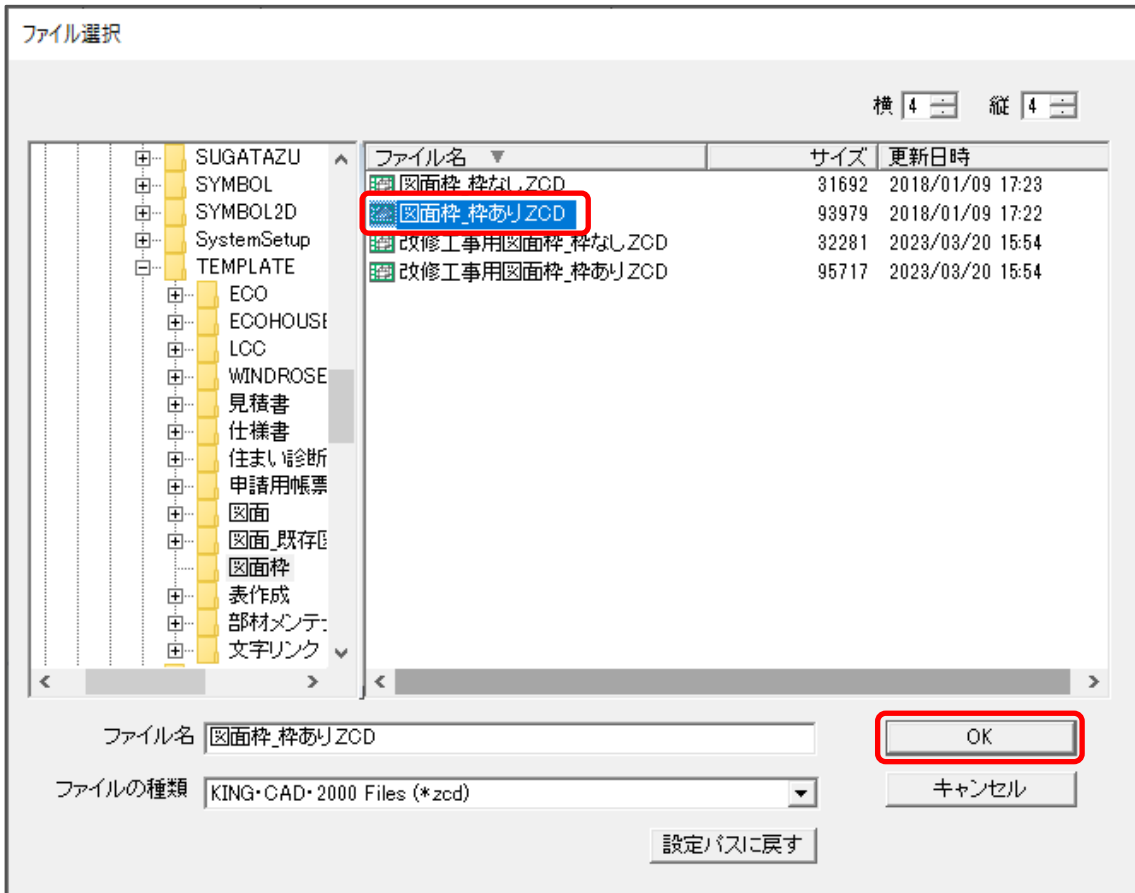


\* ファイル選択の画面が表示されます。

\* 「図面枠を利用しない。」場合は、図面枠の選択画面が省略されます。

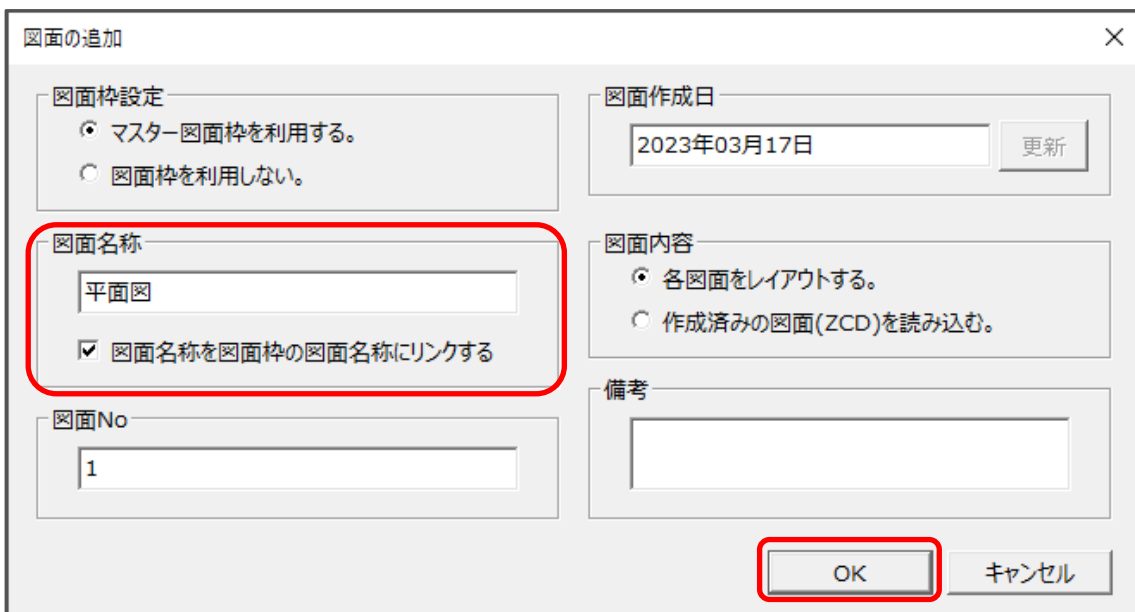
③ 使用する図面枠を選択し、「OK」をクリック

\* ここでは、初期搭載されている「図面枠\_枠あり.ZCD」を使用します。



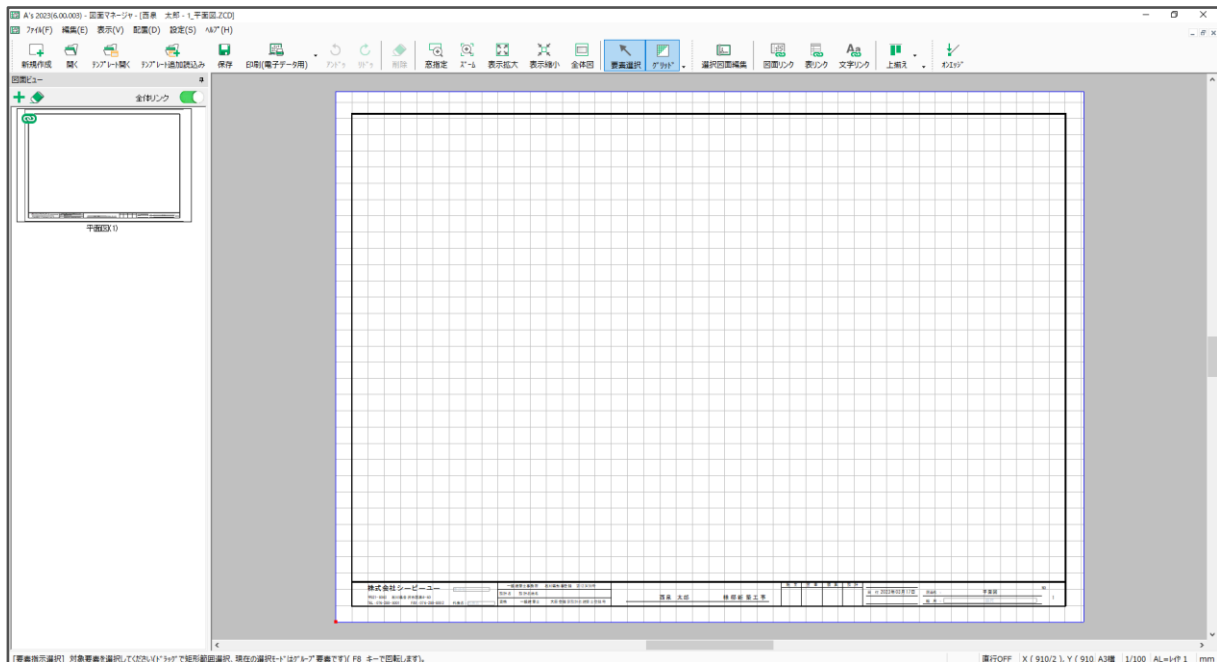
\* 図面の追加の画面が表示されます。

④ 図面名称に「平面図」と入力し、「OK」をクリック



\* 「図面枠設定」「図面 No」「図面作成日」「図面内容」は、あらかじめ設定されていますが、任意に変更してもかまいません。

\* 会社情報などが記載された図面枠が表示されます。



\* 「図面枠\_枠あり.ZCD」で自動読み込みされる内容は、以下の情報を参照しています。

会社情報：物件概要で設定した会社情報

邸名：物件概要の基本情報で設定している施主名

日付：図面作成日（「図面の追加」で設定している日付）

図面名：図面名称（「図面の追加」で設定している図面名称）

縮尺：図面リンクの縮尺指定にある「図面枠の縮尺に適用」にチェックのある縮尺

NO.：図面のページ（「図面の追加」で設定している No.）

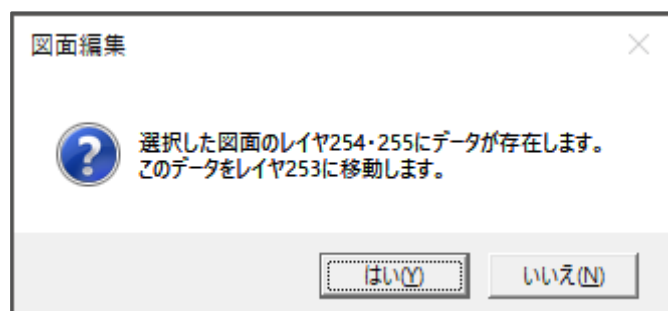
P.2 操作②の「マスター図面枠の選択」、または P.3 操作④の「図面の追加」で、「図面枠を利用しない。」を選択すると、図面マネージャで図面を追加しても図面枠は設定されません。

P.3 操作④の「図面の追加」の図面内容で、「作成済みの図面(ZCD)を読み込む。」を選択すると、「OK」をクリック後、「ファイル選択」画面が表示されます。


読み込みたい作成済みの ZCD ファイルを選択し、「OK」をクリックすると、作成した図面が読み込まれた状態で表示されます。

読み込む図面のレイヤ設定によって、

メッセージが表示されることがありますが、「はい」「いいえ」どちらかを選択して進めます。

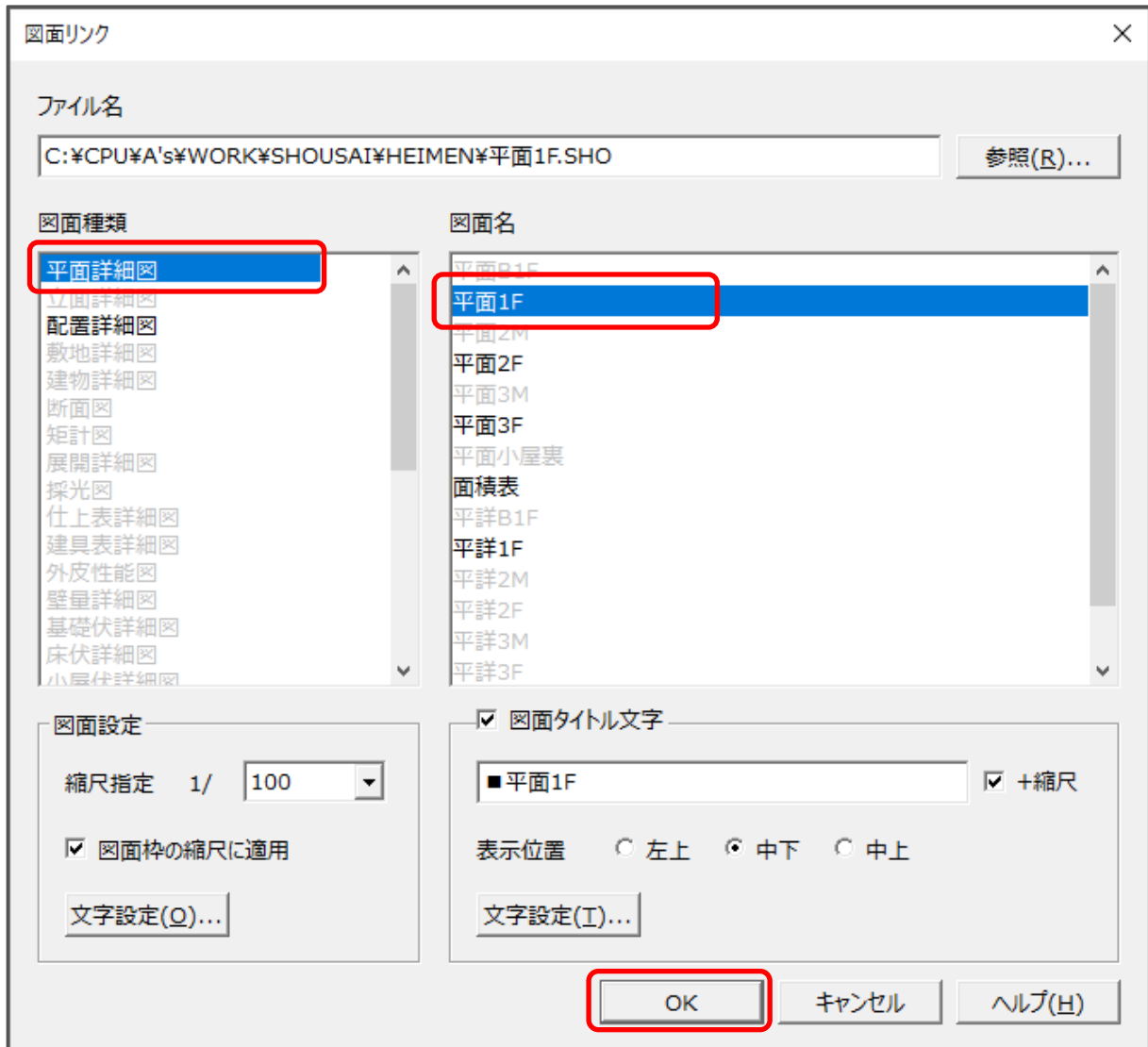


- 図面リンクの設定

①  (図面リンク)をクリック

\* 図面リンクの画面が表示されます。

② 図面種類は「平面詳細図」、図面名は「平面 1F」を選択し、「OK」をクリック



\* 図面出力・ファイル保存を実行したことがある図面は、SHO ファイルが存在し、黒字で表示されています。

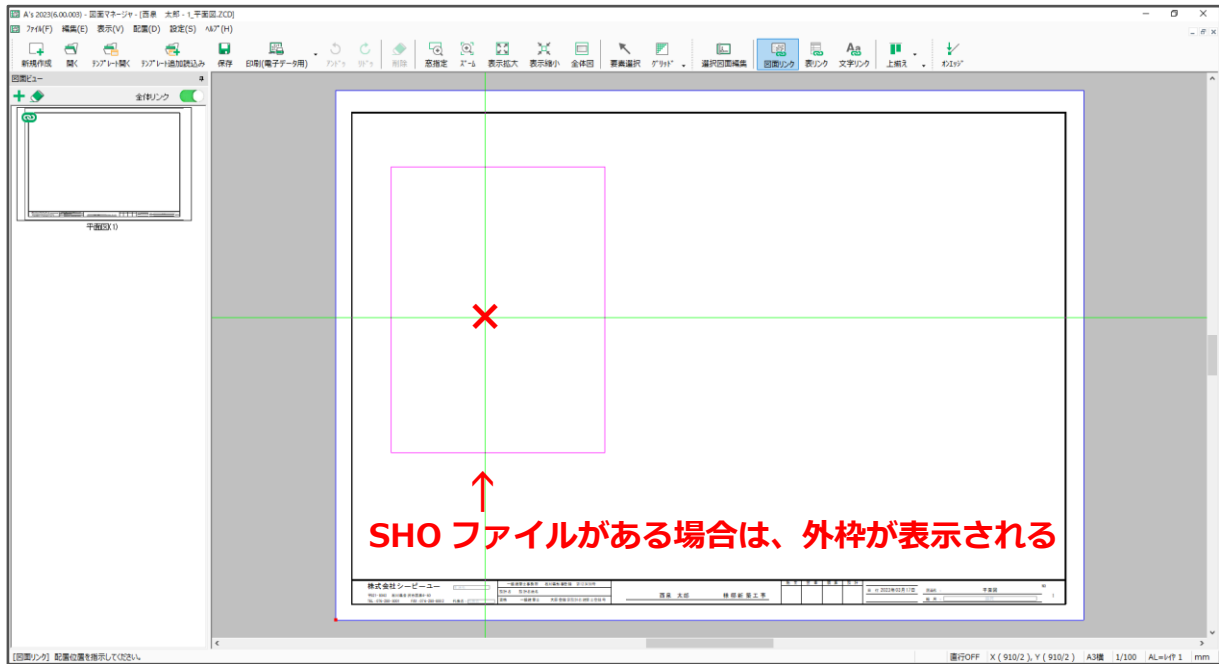
\* 図面出力・ファイル保存を実行したことがない図面は、SHO ファイルが存在せず、グレー化していますが、選択は可能です。

\* 「縮尺指定」を変更すると、読み込む図面の縮尺を変更できます。

\* 「図面タイトル文字」や「表示位置」は任意に変更してください。

③ 用紙の左側に表示されるよう配置

\* 黒字の図面は、図面の外枠がラバー表示されますので、原点位置を指示します。



\* グレー化している図面は、図面を配置する範囲を対角2点の矩形で指示します。



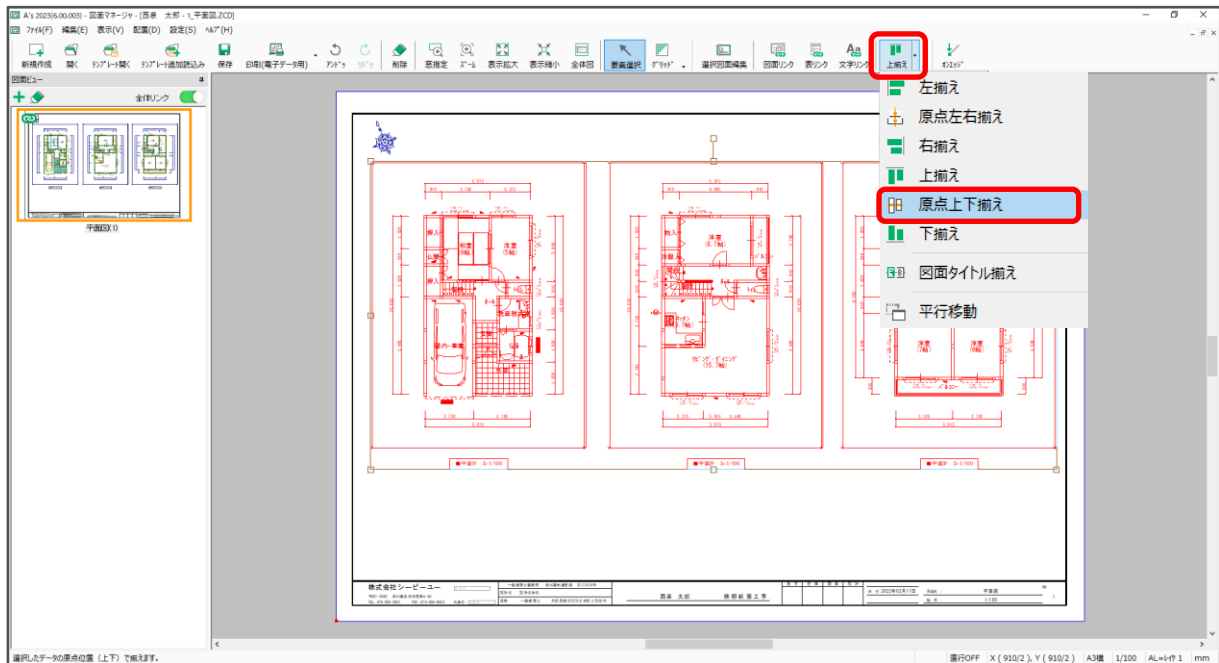
\* 矩形で配置範囲を指定した場合は、矩形の中心に原点が自動生成されます。

④ 同様に図面リンクから、「平面 2F」、「平面 3F」を選択し、画面に配置

\* 平面 2F は中央、平面 3F は右側に表示されるように配置します。

⑤ [Ctrl]キーを押しながら、1～3階の図面を選択し、 (原点上下揃え)をクリック

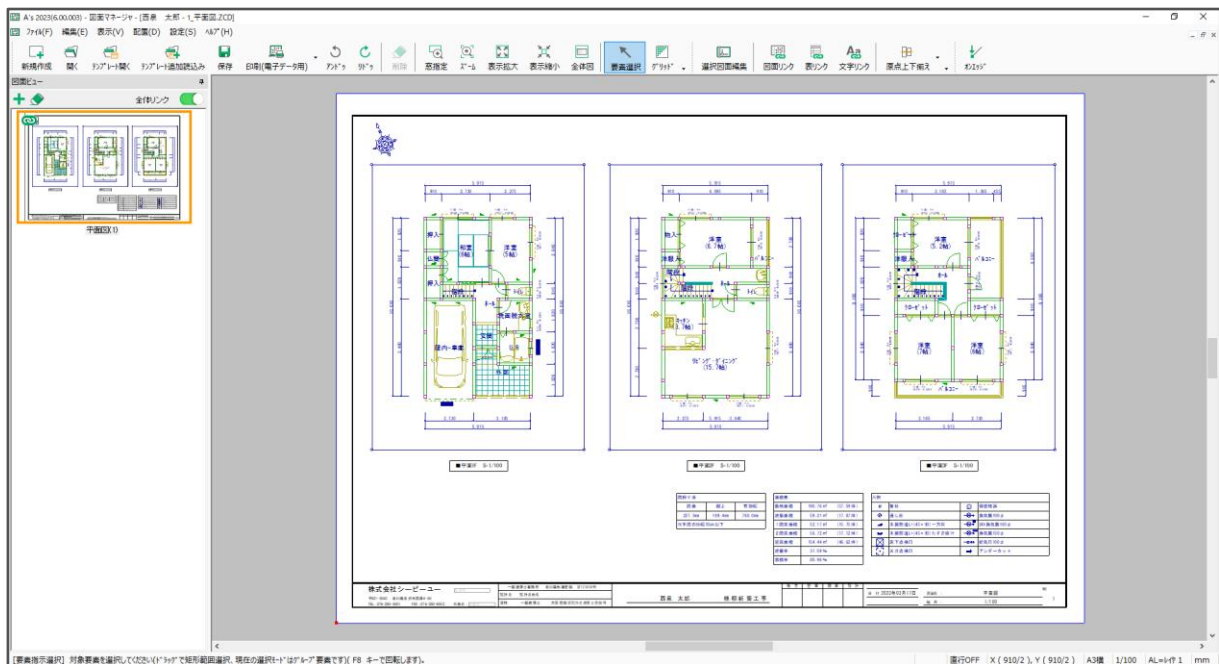
\* 原点が横一直線になるように、選択した図面のレイアウトが調整されます。




⑥ (表リンク)から、図面リンクと同様に、表や他の図面を配置し、レイアウト調整

\* 表リンクから「階段寸法」「凡例表」「面積表」を配置します。

\* 図面リンクから、配置詳細図にある「真北」を配置します。

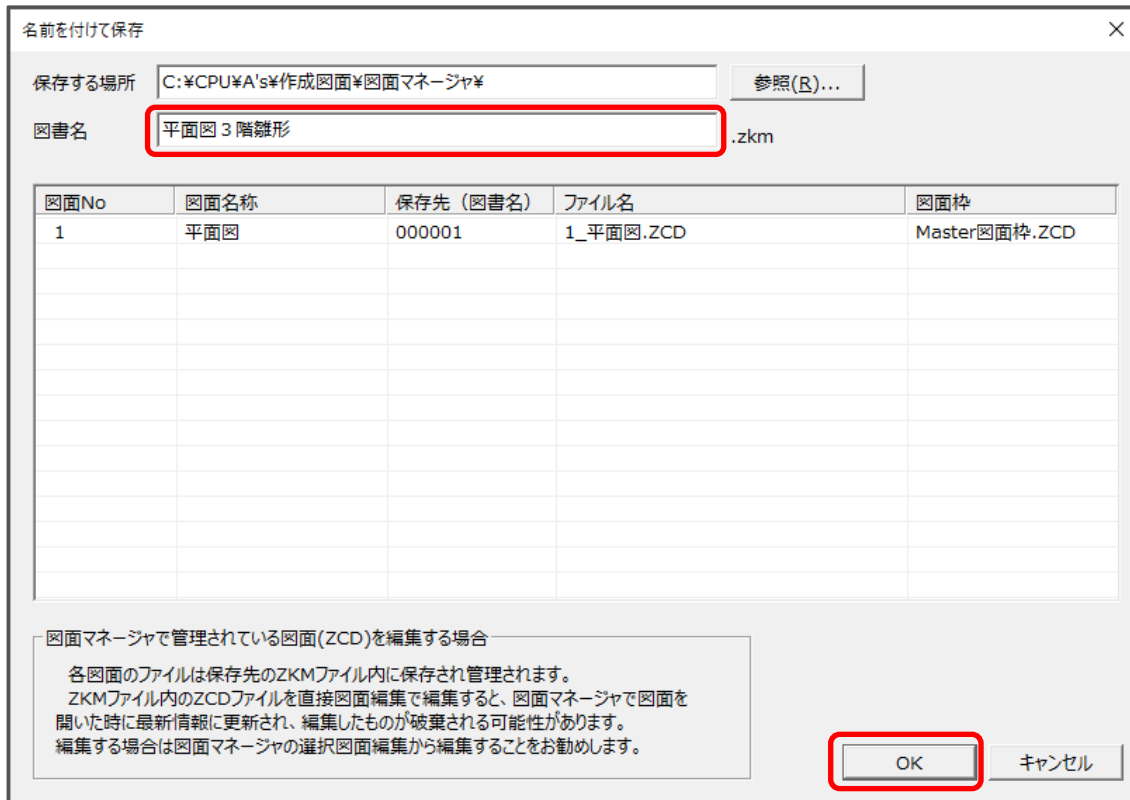


- データの保存とテンプレート読み込み

①  (保存)をクリック

\* 名前を付けて保存の画面が表示されます。

② 図書名に「平面図 3 階雛形」と入力し、「OK」をクリック



名前を付けて保存

保存する場所 C:\CPU\A's\作成図面\図面マネージャ 参照(R)...

図書名 平面図 3 階雛形 .zkm

図面No	図面名称	保存先 (図書名)	ファイル名	図面枠
1	平面図	000001	1_平面図.ZCD	Master図面枠.ZCD


図面マネージャで管理されている図面(ZCD)を編集する場合  
 各図面のファイルは保存先のZKMファイル内に保存され管理されます。  
 ZKMファイル内のZCDファイルを直接図面編集で編集すると、図面マネージャで図面を開いた時に最新情報に更新され、編集したものが破棄される可能性があります。  
 編集する場合は図面マネージャの選択図面編集から編集することをお勧めします。

OK キャンセル

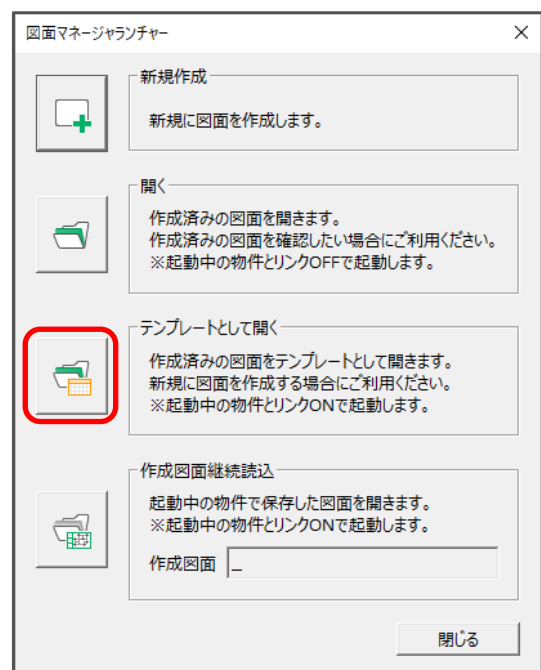
\* 設計図書としての保存ができました。このデータは、テンプレートとしても利用できます。

③ 図面マネージャを終了し、再度起動

\* 図面マネージャランチャーが表示されます。

④  (テンプレートとして開く)をクリック

\* ファイルの選択の画面が表示されます。



図面マネージャランチャー

新規作成  
新規に図面を作成します。

開く  
作成済みの図面を開きます。  
作成済みの図面を確認したい場合にご利用ください。  
※起動中の物件とリンクOFFで起動します。

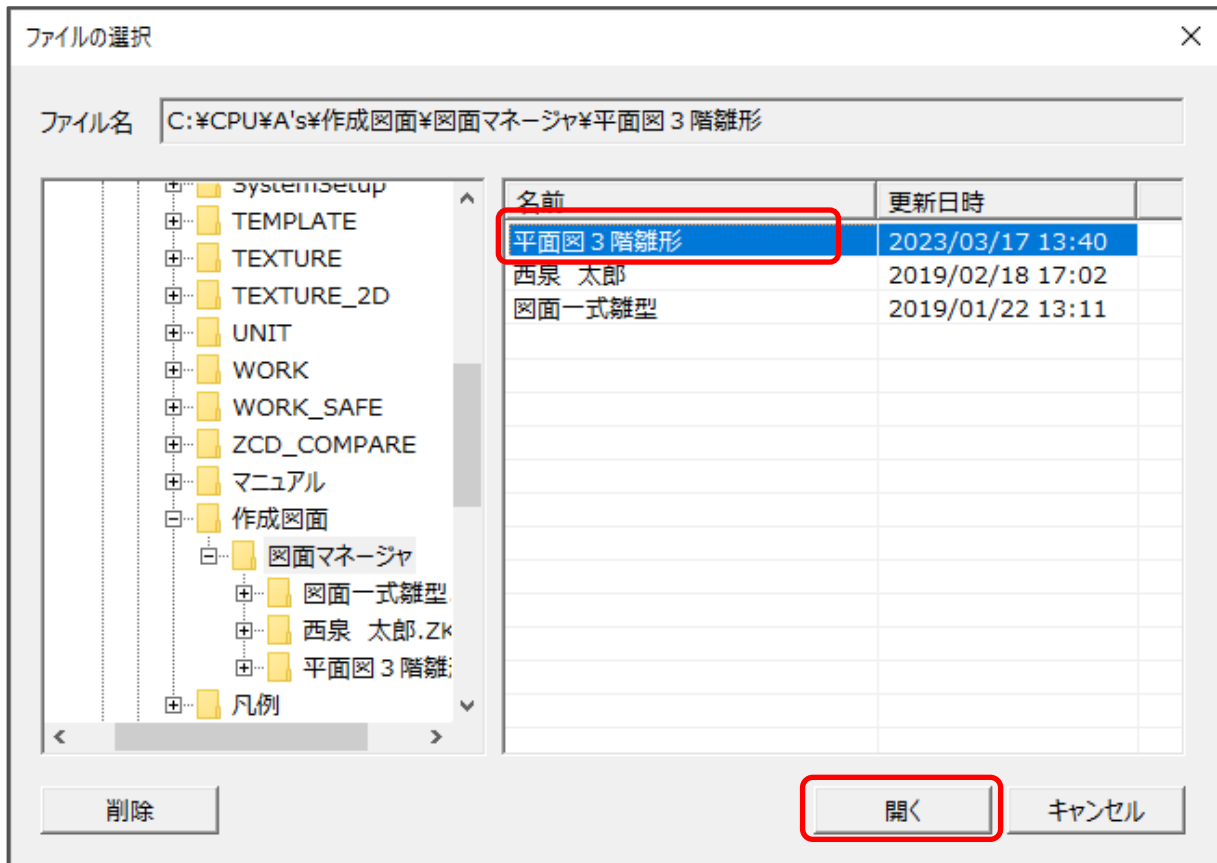
テンプレートとして開く  
作成済みの図面をテンプレートとして開きます。  
新規に図面を作成する場合にご利用ください。  
※起動中の物件とリンクONで起動します。

作成図面継続読込  
起動中の物件で保存した図面を開きます。  
※起動中の物件とリンクONで起動します。  
作成図面

閉じる

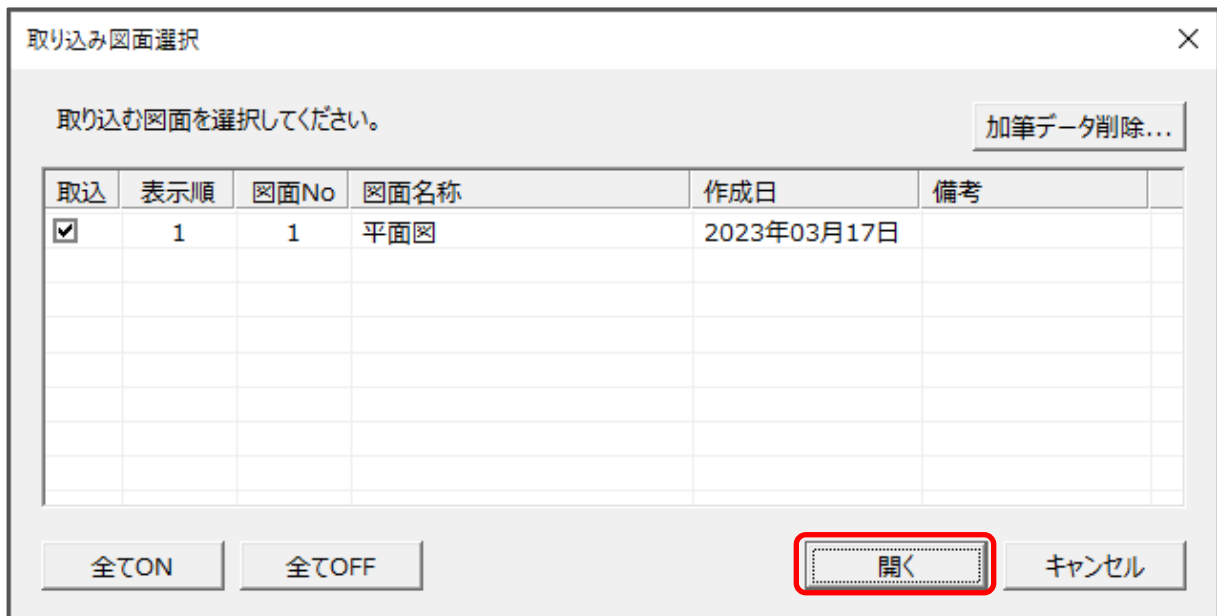


- ⑤ 「平面図 3 階雛形」を選択し、「開く」をクリック

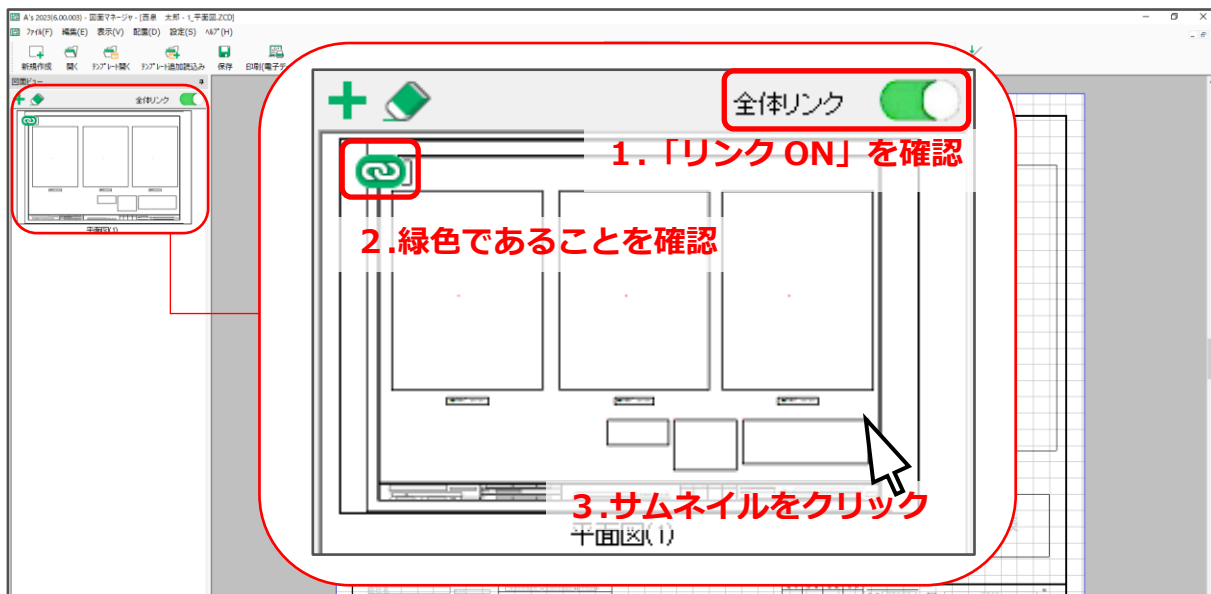


\* 取り込み図面選択の画面が表示されます。

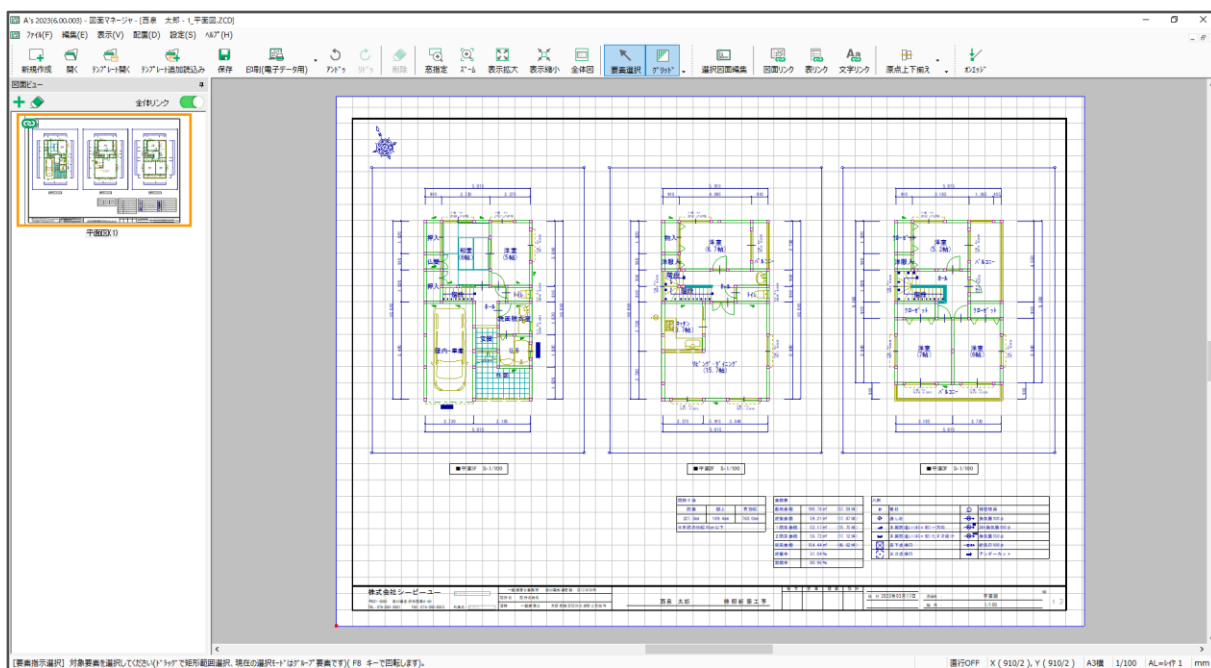
- ⑥ 内容を確認し、「開く」をクリック



⑦ 図面配置前の状態で表示されるため、リンク状態を確認し、サムネイルをクリック



\* 図面出力が実行され、テンプレート枠内に図面が自動生成されます。



【参考】図面編集のテンプレートの作成方法

図面編集のテンプレートの作成方法は、FAQ [\[1270\]](#) [テンプレート \(雛形\) の作成方法【図面編集】](#) をご覧ください。

図面編集で作成した図面枠は、図面マネージャでも使用できますが、テンプレートは図面マネージャでは利用できません。

図面マネージャで作成した図面は、図面編集に ZCD ファイルとして読み込み、図面リンク情報なども反映されます。